右手にライセンス、左手に生きる力

人間総合科学大学　広報誌

保健医療学部 看護学科・リハビリテーション学科（理学療法学専攻・義肢装具学専攻）

2025.6

vol.6

UHAS press.

ユーハス プレス

University of Human Arts and Sciences

特集

創立七十一周年 学校法人早稲田医療学園のセレモニー

海上保安庁横浜防災基地にて（看護学科統合実習）

contents

01　学校法人早稲田医療学園の卒業式、入学式
03　地域連携 NEWS
05　国家試験対策特集
07　卒業生インタビュー
08　UHAS 学生の声
09　先生の活動紹介

学校法人早稲田医療学園

人間総合科学大学

学校法人早稲田医療学園
人間総合科学大学
早稲田医療技術専門学校

～活力に溢れ自立できる学生を育む教育環境をつくり、未来に希望を託して72年の歴史を刻んでまいりました～

学校法人早稲田医療学園は今年で創立 72 周年を迎えました。
2025年3月20日（祝）に卒業式、4月6日（日）に入学式が挙行され、大学としてのセレモニーが無事に執り行われました。多くの学生が新たな門出を迎え、感慨深いひとときとなりました。

式典では早稲田医療学園のミッションである「人々の健康と幸福を支援する人材を育成する」という学校法人としての使命を示し、その上で新入生に向けて大きく２つのメッセージを伝えました。
・他に流されず自分の視点で行動を決めていくことが自分のかけがえのない人生を決めていく。自らの意思で今の強い心、覚悟と決意を胸にしっかり刻み込んで欲しい。
・よりよく生きるための知恵として、物事の幸不幸を決めるのは目の前に起きている出来事の解釈如何であるということ。生きている中で大小さまざまな納得のいかない出来事が起こるだろう。そんなとき大切なことは悲観的に捉えるのではなく、それを冷静に受け止めること。目の前に起きている出来事には多くの解釈があるということを知っておいて欲しい。素直な心で自分を活かす道を賢く選んでいって欲しい。このサイクルは生涯に渡って連続していく。

現代は理想的な健康社会の実現が望まれています。その可能性を追求するには、物質的な豊かさに頼ることなく、すべての人々が心身の豊かさを主体的に得ることが必要になります。私たちは Knowledge for well-being こそがその基本的な概念の一部になると開学当初から考えてまいりました。本学の学生がコア科目として学ぶ心身健康科学の目的は「Knowledge for well-being」を創出することにあります。
これからも熱い情熱を持って挑戦し続け、心身の健康に貢献できる人材を多数輩出してまいります。

卒業式

卒業まで苦楽を共にしたクラスメイト

仲良しの友人と素敵な袴姿で記念撮影

卒業生代表の言葉

義肢装具専攻 2025 年卒 大嶋 拓仁さん
（茨城県立伊奈高等学校出身）

まず初めに、ここまで私たちを支えてくださった先生方、家族、そして仲間に心から感謝の意を表します。皆様の温かい励ましと支援があったからこそ、こうして卒業の日を迎えることができたと思います。

大学生活は、決して平坦な道ではありませんでした。初めて学ぶ専門科目はどれも難しく、時には思うようにいかないことや挫折も経験しましたが、その度に仲間とともに支え合いながら乗り越え、成長してきました。

これから先、医療を取り巻く環境は多様に変化していくと思います。私達は、大学で得た知識や技術、仲間と過ごした時間、そして支えてくれたすべての方の思いを胸に、どんな困難にも立ち向かっていけるよう頑張っていきたいと思います。

感謝を伝える卒業生を
思わず抱き締める先生

入学式

新たな仲間を迎え、新しい風が吹き込まれました。

緊張と喜びの中で、理事長からの挨拶

看護学科 1 年生

入学式前から交流があり、既に友達になっている姿が微笑ましかったです。これから共に学び、成長していけることを嬉しく思います。

地域連携 NEWS
Iwatsuki Campus

360体を超える大迫力のひな壇飾り

ひなまつり2025@人間総合科学大学

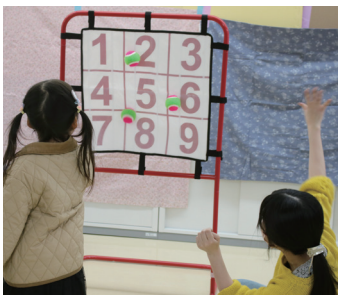
雛人形の名産地である岩槻は職人の街。雛人形・五月人形の店が立ち並び、「上巳の節句」にあたる雛祭りの時期には、街中あちらこちらの商店でそれぞれ自慢の雛人形が飾られ訪れる人々の目を楽しませてくれます。第 22 回となる「人形のまち岩槻 まちかど雛めぐり」の一環として、今年も 2/23（日）、24（月・祝）に人間総合科学大学岩槻キャンパスにて「桃の節句企画　ひなまつり 2025」が行われました。

大迫力のひな人形の階段飾りを始め、健康イベント、学生企画や音楽フェス、多くの地域のご出店者様のご協力のもと、過去最高の 3,600 名を超える来場者で大いに賑わいました!!
小さなお子様からご高齢の方まで幅広い年代の方に楽しんでいただけたと思います。

地域の方々と協力して取り組むこのようなイベントをこれからも大切にしてまいります。

義肢装具学専攻体験

ハンドメイドの出展



お子様向けイベント

岩槻盛り上げ隊

つながる卒業生

理学療法士以外にも顔を持つ卒業生たちが ひなまつりイベントに参加し、会場を盛り上げてくれました。

理学療法学専攻 2016年卒
荒金 千里さん

人間総合科学大学では、少人数制の環境の中で先生方が親身に進路や学びを支えてくれました。在学中に学んだ「人に寄り添う心」は、今の仕事に大いに生きています。現在、私は理学療法士として働く傍ら、介護美容の活動を行っています。身体機能の向上だけでは補えない何かを感じていて、それを支えるひとつの手段として介護美容にたどり着きました。2 月のひなまつりでは、ネイルやハンドトリートメントを提供し、多くの方に喜んでいただきました。

理学療法学専攻 2018年卒
鶴巻 聡太さん

卒業後、回復期病院での勤務を経て、現在はつくば市の整形外科クリニックで外来リハビリテーションに従事しています。また、ピラティスインストラクターとして地域住民の方々にグループレッスンを開催しています。大学卒業から 7 年が経ち、今回のイベントで同級生と一緒に活動できたことは良い経験となりました。理学療法学専攻は少人数制で先生方から手厚いサポートがあり、現在も同級生や先生方と繋がりを保てていることに感謝しています。

理学療法学専攻 2018年卒
松永 一馬さん

人間総合科学大学は、少人数クラスならではのアットホームな環境が魅力でした。教員との距離も近く、学びやすい雰囲気の中で充実した学生生活を送ることができました。卒業後、ノルディックウォークのインストラクター資格を取得し、その魅力を広めたいと考えていたところ、在学中にお世話になった先生からお声がけいただき、大学主催のひな祭りイベントに出展する機会を得ました。卒業後も母校とのつながりを感じられる素晴らしい経験となりました。

理学療法学専攻 2018年卒
鈴木 利弥さん

私は現在、外来リハビリクリニックでリハビリテーション科主任を務めています。治療の質を高めるためにピラティスのインストラクター資格を取得し、リハビリに取り入れながら効果的なアプローチを日々考察しています。また、大学時代の国家試験対策でのグループワーク経験が、チーム全体の実力を引き上げる視点や協調性を養う良い学びとなり、現在の業務にも生かされていると思います。

子ども大学SAITAMA

子どもたちの知的好奇心を刺激して、自ら考え行動できるようになる場を提供している子ども大学SAITAMA。本学も毎年協力しており、2024年度は義肢装具学専攻の教員による講座を実施。

小学生のみんなと一緒に、自分の体を支えてくれている足について、勉強や観察をしました。足にある骨の個数、土踏まずの役割などを学んでから、実際にどのように足の裏に体重が加わっているのかを、フットプリントシートと呼ばれる道具を使って調べました。土踏まずの部分にパッドを貼り付けて、立っている感じがどのように変わるのかを体験しました。みんな積極的にプログラムに参加して、楽しい時間を一緒に過ごすことができました。（義肢装具専攻 吉田渡先生）

さいたまマラソン

2025年3月16日(日)、さいたまマラソン2025にボランティアスタッフとして、保健医療学部を中心に70名以上の学生が参加しました。
そして、本学から2名のランナーがフルマラソンを走り切りました。
当日はあいにくの天気でしたが、ずぶ濡れの中ひたむきに完走を目指すランナーに思わず
ボランティアから「ナイスラン!」、「あと少し!」、「頑張れ!!」という声援が飛び交う、
そんなさいたまマラソンでした。

悪天候だった分、
余計に声援が温かく感じ
頑張れました!

看護学科 3年 野村 康真人さん

人間総合科学大学の招待枠として参加しました。初めてフルマラソンを走り切り、達成感と同時に多くの人の支えを実感しました。特に感謝したいのは、沿道で声援を送り続けてくれたボランティアの皆さんです。給水所での笑顔や励ましの言葉、道案内の的確さなど、ボランティアの皆さんがいなければ完走は難しかったと思います。自分一人の力ではなく、多くの人の協力で走れた42.195kmでした。今後は自分も支える側に回りたいと感じました。

国家試験対策特集
Iwatsuki Campus

本学は毎年高い国家試験の合格率を達成しています。高い合格率を出すための工夫をご紹介します！

本学独自のグループ学修。4年生になるとグループごとに遅くまで勉強しています。まさに教え合い学び合い最後まで励まし合って頑張ります。

「LTD学修法」により毎年全国平均を上回る合格率!

LTDとは「Learning Through Discussion」の略で、学生同士が話し合いながら、学びを深めていく学修法。知識のインプットだけではなく、アウトプットをすることで理解が確実に深まっていきます。開学以来ずっと続けている学生同士が相互に影響を与え合う学修手法で、毎年全国平均を上回る合格率を実現しています。

LTD学修中

国試までのカウントダウン

合格した先輩の声

国家試験対策は、グループワークが印象に残っています。周りの友人が勉強に励む姿をみて、自分も頑張ろうと思えていました。それだけではなく国家試験対策の講義があることや、教員による個別での対応もとても充実していました。

私は理学療法学専攻でしたが、教員の方々は親身で学生に対して一所懸命に向き合ってくれます。他愛もない話を出来るようなフレンドリーな方ばかりで、沢山思い出のある学生生活を送ることができました！

理学療法学専攻 2025年卒 吉村 玲奈さん
（埼玉県立深谷第一高等学校出身）

試験直前のサポート

教員の配慮で、近くにある神社に合格祈願に行く学科専攻もありました。個別に相談に乗っている先生方の姿もたくさん見ました。先生方の面倒見のよさは抜群です。

国試壮行会では、当日の心構えについて、周りに振り回されない心の持ちようなど大変貴重なお話をいただきました。先生方はサプライズでメッセージやギフトを用意してくださっており、温かく送り出してくれました。

今年も就職率 100%!

本学の就職活動には学生のことをよく知る各学科専攻の教員が一緒に伴走します。また、外部講師を招いて面接対策や自己分析など就職活動に役立つ知識やスキルを身につけるセミナーを実施。毎年多くの学生が希望の就職先に巣立っていきます。

看護学科 2025年卒 齋藤 璃香さん
(埼玉県星野高等学校出身)
就職先:昭和医科大学

私が採用試験の際に一番意識した事は、「笑顔」です。私は、書類と面接のみの試験だったので、面接の時にどれだけ良い印象を持って貰えるかを考えて試験を受けました。もちろん、面接内容なども事前に情報収集をしましたが、それを暗記してただ読み上げるよりも、面接官との自然な言葉のキャッチボールをしながら笑顔で面接を行うことがとても大切だと思います。自信を持って採用試験を受けてください!面接官の方は、皆さんの良いところを必ず見つけてくれると思います。

理学療法学専攻 2025年卒 小木 翔斗さん
(クラーク記念国際高等学校出身)
就職先:東海大学医学部付属八王子病院

私は就職活動で先生方から様々なサポートを受けました。面接対策では丁寧に添削や助言をいただきました。また、小論文対策では話題に対応した書き方や知識を教えていただきました。
就職活動では様々なことに悩むかもしれません。しかし、先生方は親身になって相談に乗ってくださいます。大変な時もあるかもしれませんが、応援してます!

義肢装具学専攻 2025年卒 佐々木 拓未さん
(岩手県立花巻北高等学校出身)
就職先:有限会社浦和義肢装具製作所

義肢装具学専攻の就職活動では、多くの企業が集まる説明会で情報を集めました。また、教員との面談では会社の特色や我々学生の特徴を踏まえながらアドバイスをしてくれたため、企業見学もより充実させることができました。義肢装具士は一般の就職活動とは時期なども異なるため不安が募りますが、教員によるサポートが充実しているため安心して就職活動ができると思います。

卒業生インタビュー

先輩の学生時代～今～これからを聞く

川口市立医療センター
3B 病棟
助産師
米山 美優さん

『助産師を目指して』

母親が看護師だったこともあり、小さい頃から医療従事者に興味がありました。
高校は保健医療コースに入学し、患者さんに親身に寄り添える看護師を目指しました。
私が人間総合科学大学を志望した理由は、オープンキャンパスに参加した際、先生方と先輩方の距離感が近くアットホームな学校に魅力を感じたからです。

私は、大学在学時に母性看護学実習で出会った助産師に憧れを持ち助産師を目指しました。実習前、助産師は分娩介助をする人と考えていましたが、実習を通して妊娠から出産、育児に至るまで幅広く活躍する人だと学びました。また、退院後も安心して育児ができるように継続した支援が大切であると学び、地域社会で活躍する助産師になりたいと強く感じました。

大学4年次には、看護師国家試験に向けて勉強をしながら、助産師学校の入試に向けた面接の練習や小論文、学科試験の勉強に励みました。このような状況で、先生方が優しく丁寧に教えてくださり、精神的なサポートをしてくださったおかげで無事に合格することができました。

助産師学校は1年制だったため、毎日知識や技術の習得に追われていました。半年間一人暮らしをしながらの実習は1番辛かったです。それでもここまで乗り越えてきたものが無駄になる方が勿体無い、応援してくれる人や自分のために最後までやり遂げたいという強い気持ちで頑張りました。無事に助産師国家試験に合格し、現在は川口医療センターで働いています。

新人の時は、業務を覚えるのに精一杯で毎日緊張していました。現在私は3年目になり任されることも多くなりました。助産師になってから、妊娠、出産は当たり前にできることではない、赤ちゃんが元気に産まれてくることやお母さんが元気なことが絶対ではないと実感しました。入院中の妊婦さんは早産になってしまうかもしれない不安や長期入院での精神的ストレスを抱えています。母児ともに安心、安全に過ごせるよう支援させて頂いています。分娩介助をさせて頂いた対象者さんから「米山さんがしっかり目を見て声かけをしてくれたから安心して身を任せられました。」と言われた時、ここまでやってきて良かったとやりがいを感じました。
また、産後は退院後の育児不安を訴える方が多く入院中には授乳、育児指導をさせて頂いています。家族が笑顔で退院していく姿をみて、私も幸せな気持ちになります。私は、新しい家族の始まりに関わり、退院後も頼りたいと思われるような助産師を目指したいと考えています。そのために、今後はスキルアップを目指して外部講義に参加し自己研鑽に努めたいと考えています。

これから看護師、助産師を目指したいと考えている方へ

学生時代は、課題や実習で気が狂いそうになる時もあると思います。1人では乗り越えられないと思うので周りにいる友人たちを頼り、頼られながら頑張ってほしいと思います。私も初めはできないことだらけでしたが、経験する中で成長できると実感しています。私も助産師として成長できるように頑張りますので、皆さんも諦めずに夢を追いかけてください。

My Lunch
いわつき
カフェテリア

みんなのオススメメニューを教えてもらいました!

看護学科
1年 前原 杏菜さん
1年 三瓶 瑠愛さん
1年 佐藤 李里花さん

おすすめ

あんかけラーメン

食べ盛りなので（笑）
いつも大盛りにしています。
塩豚丼は特にご飯が進んで
満足感バツグンです!!

理学療法学専攻
3年 長塚 悠起さん

おすすめ

カレー

義肢装具学専攻
2年 志村 日向さん

おすすめ

塩豚丼

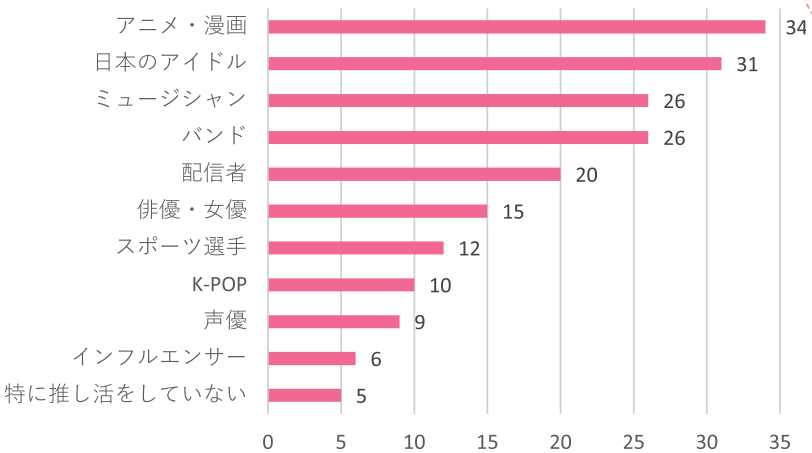
UHAS学生調査!!

推しジャンル

UHAS学生の推しジャンルを聞いてみました♡

意外にもK-POPは少数派で日本のアイドル、ミュージシャン、バンド、アニメ・漫画で推しがいる人が多かったです。特に推し活をしていないという人は少数派で、推しが複数いる人も多かったです。具体的な推しの名前も聞いてみたいところです。毎日いろいろなことがあると思いますが、推しがいれば元気になれますよね♪

推し活・担当様のジャンル（複数回答可）



ミセスのお陰で
日々頑張れています♪

看護学科2年 野村 美貴さん

その他には、「ゲームキャラクター、プロレス、ディズニー、先輩・後輩、恋人」などがありました！

保健医療学部
岩槻キャンパス

先生の活動紹介

先生方は授業の他に様々な活動もされています。
今回は、各学科より代表して
3人の先生方にご自身の活動内容を紹介していただきます。

看護学科

保健医療学部
看護学科
准教授
吉岡　留美

災害医療支援について

私は基礎看護領域を担当しておりますが、災害医療支援も行っています。災害は昨今、温暖化の影響もあるのか国内外問わず多く発生しています。また、国内では南海トラフ地震や首都直下地震、富士山噴火などの可能性があると発表されています。大規模災害が発生した時、医療職の私たちは何ができるのでしょうか。災害発生直後は、消防、警察、自衛隊などありとあらゆる組織が国民の命の救出を行います。医療職も同様です。しかし、実際は長期的な避難生活が待っています。そこにこそ医療職が継続的に支えていく必要があると思います。もちろん発災直後の急性期には沢山の救護対象者がいますが、その中でも重傷者を見つけ出し救急処置を行う必要もあります。

刻々と変化する被災地にニーズを見出し対応する必要もあるのです。医療者は沢山の経験から身につけている知識や技術もありますが、災害時の医療支援はだれもが経験して身につけている訳ではありません。そのため、経験してきたことを研修や学会などで知ってもらう機会があります。当大学では災害看護の講義は必修ではないため、将来災害医療支援や集中治療部門で活躍したいと希望している学生に、災害人道医療支援会（Humanitarian Medical Assistance：HuMA）の勉強会や日本災害医学会（JADM）学術集会を紹介したところ、どちらにも参加した結果、さらに興味が深くなったようです。

このように災害大国の日本である以上災害が起こった時に医療者としてどのように対応すべきかなど学ぶチャンスを今後も学生に伝えていきたいと思っています。また、地域とコラボできること、地域から求められていることなどに耳を傾け何かできることがあるのか今後検討していきたいと考えています。

イラン・JICAの診療テントにて小児に点滴中

インドネシアスマトラ島 巡回診療にて

看護学科3年山下さんとHUMA勉強会にて

＜国際災害の派遣実績＞

トルコ共和国西部地震災害
インドネシア国地震災害
イラク危機対応プロジェクト
アルジェリア国地震災害
イラン国地震災害
インドネシア地震災害・津波災害
パキスタン地震災害
インドネシア国ジャワ島中部地震災害
ミャンマーサイクロン災害
パシフィックパートナーシップ2010　ベトナム
東日本大震災被災者医療支援
福島県飯舘村健康相談医療支援
フィリピン国台風（ハイヤン）災害
ダイヤモンド・プリンセス号船内での医療支援

JADM　HuMA

理学療法学専攻

保健医療学部
リハビリテーション学科
理学療法学専攻
教授
吉田　一也

肩こりの原因や解消法をメディアで解説

小学生から高校生まで野球をやっていました。「この経験を仕事にも活かしたい!」,「スポーツ分野で活躍したい!」,「プロ野球選手のケアがしたい!」と思い,理学療法士を目指しました。

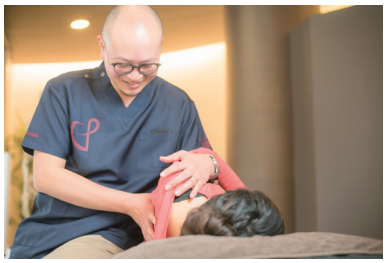
理学療法士になってからは,整形外科病院で働きながら野球選手のケアに役立つだろうと,肩関節のケガについての経験を積むと共に全国高等学校野球選手権大会(通称:甲子園大会)でメディカルスタッフとして10年以上携わってきました。

そんな中で,肩の不調で多い肩こりや肩関節周囲炎(一般名としては四十肩・五十肩)で悩む人が非常に多いことを知りました。スポーツ分野以上に,このような不調の原因や解消法を世の中の方々に知ってもらう取り組みがしたいと考え,現在では肩の不調の解消法に対する啓蒙活動を行っています。

理学療法士としての臨床現場では,肩のケガ,例えば骨折や靱帯損傷に関わることが多いのですが,それよりも世の中の人が悩んでいるのは肩こりだということを知りました。肩こりは原因がわかっていれば対処ができます。最近ではテレビやラジオ,雑誌の特集などで解消法を伝えていることから巷では「肩こり博士」と呼ばれています。この活動には理学療法士として培ってきた知識と技術が詰まっています。ぜひテレビやインターネットで,理学療法士の活動を知ってもらえたら嬉しいです。

＜最近の活動＞

・フジテレビ「ホンマでっか!?TV」出演
・エスエス製薬「EVE」肩こりと姿勢について監修
・日経BP「日経ヘルス」鎖骨と肩こりの関係について監修
・日本橋出版「肩こり博士の最新肩こり解消法　鎖骨ほぐし®」出版



肩こりの施術風景

義肢装具学専攻

保健医療学部
リハビリテーション学科
義肢装具学専攻
講師
藤枝　温子

ライチョウの義足について

義肢装具士は、四肢欠損のある人に対して機能や外観などを補う義肢(義手・義足)や、身体に障害のある人に対して機能回復や低下を防ぐための装具を製作し適合させることを業とする国家資格です。

近年、ペットは愛玩動物ではなく「ペットの家族化」が進み、さらに犬や猫だけでなく魚類や鳥類などさまざまな種類の生き物がペットとして飼育されるようになりました。またSDGsの広まりとともに、人の管理下にある動物を適切な環境で飼育する「動物福祉」の考え方や活動が報じられるようになり、人間に対して作られていた義肢や装具の技術を、四肢の不自由な動物に応用し、提供することが求められています。つまりは、飼育下の動物たちに質の高い生活、QOL(Quality of life)の向上が必要だということです。

その中で、私は動物園で飼育されているライチョウに対する義足製作の依頼を受けました。鳥類に対する義足製作の事例はとても少なく、特にライチョウに対する前例は見当たりませんでした。義足を製作することになったライチョウは、事故により足趾※1の切断に至っていました。足趾が無いために床を蹴ることが出来ず、空を切ってしまうことから歩行困難な状態のうえ、片脚で荷重していたことから健肢※2の変形と足趾に胼胝※3ができていました。さらに、通常では静止時に両脚立位のためキレイな羽毛を保っていますが、健肢を休めるために胸を床に着けていたことから、とても羽毛が汚れていました。そこで、両脚での荷重による立位と歩行の改善、健肢の負担軽減を目的として軽量な義足製作に挑戦しました。前例が無かったため、義足の足趾の形状を複数種類製作し、軽量化のために何度も試行錯誤を繰り返しながら目的を達成する義足を完成させることができました。また、義足適合の過程で食事量や行動範囲の低下が観られ、ライチョウにおける義足の受容と心身相関について考察することができました。

義足完成後から約2年経過しましたが、ライチョウは義足を継続して使用しており、担当獣医師からは義足によって活発に行動できるようになり、QOLが向上したと高い評価を得ることができました。今後の展望として、3Dプリント技術を導入することで高い適合性と意匠性のある義足開発に取り組みたいと考えています。

義足装着風景

義足装置後の摂食の様子

※1 足趾(そくし):足の指　※2 健肢(けんし):切断と反対側の足　※3 胼胝(べんち):皮膚の一部が硬く厚くなった状態、いわゆる「たこ」

イベントのお知らせ

学園祭

2025 **11/1**(土) 岩槻キャンパス

2(日) 蓮田キャンパス

学園祭Human Festival2025を開催します。
学生企画ブースやキッチンカーの出展もお楽しみに☆

ひなまつり

2026 **2/22**(日) 岩槻キャンパス

23(月・祝) 岩槻キャンパス

「ひなまつり@人間総合科学大学2026」を開催します。
階段を彩る360体を超える人形は必見です!

2025年 OPEN CAMPUS

お申込はこちらから

わかりやすい学科説明や楽しい模擬授業、先輩が案内してくれるキャンパスツアーなど
盛りだくさんのイベントです! 個別相談ブースもあります。

蓮田キャンパス
【人間科学部】
健康栄養学科
ヘルスフードサイエンス学科
心身健康科学科(通学課程) 認可申請中

岩槻キャンパス
【保健医療学部】
看護学科
リハビリテーション学科
(理学療法学専攻・義肢装具学専攻)

楽しい模擬授業があるよ!

Let's go!

開催時間 10:00 ～ 12:00
(蓮田キャンパス受付 9:30～)
(岩槻キャンパス受付 9:15～)

内 容
・大学、学科紹介 ・入試説明 ・模擬授業
・入試奨学金個別相談 ・教員、学生による個別相談
・キャンパスツアー など

7/13(日) **7/21**(祝) **8/9**(土) **8/24**(日) **9/21**(日)

大学・進路説明会

学科紹介、入試説明、個別相談、11/23はキャンパス見学(実習室体験)も開催

11/1(土) ※岩槻キャンパスのみ 学園祭同時開催
11/2(日) ※蓮田キャンパスのみ 学園祭同時開催
11/23(日) ※両キャンパス実施

新2・3年生対象イベント

春の大学・進路説明会
2026 **2/22**(日)・**23**(月・祝)
岩槻ひなまつり同時開催

春のオープンキャンパス
2026 **3/22**(日)

蓮田キャンパス
・蓮田駅より送迎バス運行
(夏休み期間 7/21・8/9・8/24 のみ)
・保護者同伴に限り、車での来場OK!

岩槻キャンパス
・岩槻駅より送迎バス運行(全日程)
・駐車場はありませんので公共交通機関でお越しください。
※送迎バスの詳細は HPお知らせをご覧ください。

平日放課後個別キャンパス見学・入試相談会
5/12(月) ～ 7/18(金)
平日 16:00 ～ 18:00 の内 1時間程度
※事前予約制

夏の個別キャンパス見学・入試相談会
7/22(火) ～ 8/29(金)
平日 9:00 ～ 17:00 の内 1時間程度
※事前予約制

※詳細はHPお知らせをご覧ください。

人間総合科学大学

■人間科学部
健康栄養学科
ヘルスフードサイエンス学科
心身健康科学科(通学課程)認可申請中
(通信教育課程)

■保健医療学部
看護学科
リハビリテーション学科 理学療法学専攻
リハビリテーション学科 義肢装具学専攻

■お問い合わせ
アドミッションセンター
〒339-8539
埼玉県さいたま市岩槻区馬込 1288
TEL : 048-749-6120 FAX : 048-749-6110
E-mail : admin@human.ac.jp